



2014~2015

# 沼田ロータリークラブ会報

ロータリーに輝きを  
LIGHT UP ROTARY

2014~2015年度 国際ロータリー会長 ゲイリーC.K.ホアン

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 山田龍之介 幹事 桑原滋 会報編集 桑原伸一郎  
例会場 ディラン 事務所 沼田市東原新町1540 利根郡信用金庫本店内 TEL 0278-24-1177

第2840回 例会報告

2015年6月5日

記録 桑原伸一郎

例会予告

6/9 世界経済と利根沼田経済 小川博美 先生

6/21 上田・長野研修

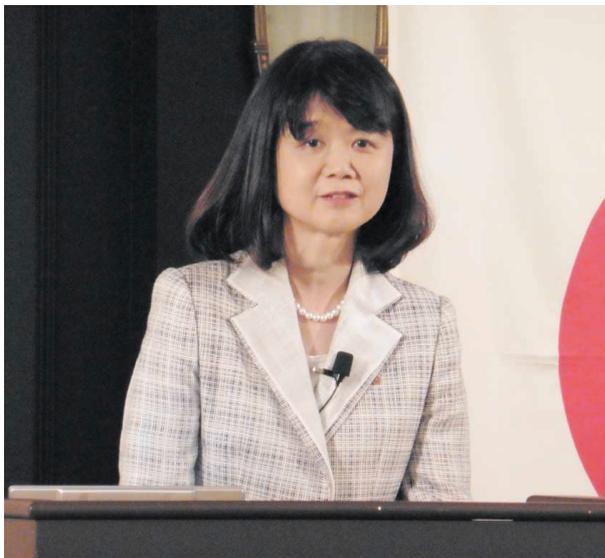
<http://www.rid2840.jp/numata/>

2015年6月9日発行 No.44

## 生涯教育

— グローバル社会における真の人間教育とは —

野村生涯教育センター理事長 金子由美子 先生



■司会 井熊開三君

■会長挨拶 山田龍之介会長

雨の中ご参加ありがとうございます。ロータリークラブの教育活動の支援事業であります。4月には沼田市先生の日への協力で講演会を行いました。その他に中学校や高校へキャリア教育の一環として学校で講演や、中学生の職場体験の受け入れ等も行っています。

本日は生涯教育をグローバル社会の中でどう行い、時代に必要な人間教育とは何なのか先生にヒントをいただきたいと思っております。

■講師紹介 西田俊太郎職業奉仕委員長

先生は公益財団法人野村生涯教育センターの理事をされています。この財団法人は、故野村佳子さんが1960年に創設し、民間教育ボランティアとして「親と子」の向き合い生涯教育論を行う一方で、ユネスコ本部のパリで10回にわたる国際フォーラムなどを行い、国際的にその理論に大きな期待が寄せられています。

今日は、希薄になっている社会環境の中で子供達に何を伝えていけばよいのか、どう向き合ったらよいのか講演いただきます。

■講演

本日はこのような機会をいただきありがとうございます。ロータリーの皆様は、世界平和・紛争・テロ・飢餓やポリオ撲滅に取り組み、青少年育成を推進され、当財団と相通じる所があります。

今年に入り衝撃的な事件が国内外でありました。中東ではISによるテロ、拉致により、日本人までもが殺されてしまい、比較的友好国と思われてた日本人がターゲットとなってしまうました。これもインターネットの中で世界中に配信されてしまいました。ISはネット社会を使い戦闘員を集め拡大化を図っています。

その中で日本の国の形を変えるような安全保障関連の法改正が議論されています。それも安倍総理はアメリカで先に今年の夏には成

立させると、国民軽視の発言で主権在民の国では順番が違うと思います。

国内でも残虐な事件が多くあり、2～3年前でしたら1つの事件が長く語られていましたが、今は次から次とあり消えていっています。2月の川崎市の事件は多くの事を含んでいて、両親の離婚、5人兄弟の2番目、一人親による生活苦、島根から都会の川崎での生活という状況の中で、不良先輩グループに入ってしまう、万引を断ったことからイジメ対象になってしまった。学校の指導も届かず、ラインという見えない世界でイジメも広がり死に致るような事になってしまいました。これもネット社会による特質で、ISと同じ方法だと思います。ニュースのインタビューで花を手向けに来た人の言葉は、自分の子も人事ではなく、いつイジメの対象になるかわからないと答えていました。子供達の環境も20世紀とは違い、緊張感の強い中にいるということが強く表れています。

なぜこのような環境になってしまったのか。今だけを見るのではなく過去から未来の長いスペースで見ていく必要があります。社会がミクロ的分野でもマクロ的分野でも、世界中がおかしくなっているからだだと思います。

では人を育てる教育はどうなっているのかです。教育の目的は、知識や学力の向上から良い生活を勝ち取るための学校教育となりました。私は50才代ですので、70年代は学校だけの学習だけで一生が暮らせると思っていました。その後、生活水準の高度化により21世紀に入り急激に変化しています。その高度化と医療の高度化により寿命が延び、科学文明の向上で余裕ある生活と時間を得る中で、生涯学習の考え方が広がってきました。

平均寿命は1947年男50才、女53才。60年男65才、女70才。2年前は、男80才、女86才まで延びました。それ以前大正期は男42才、女43才でしたから倍になっています。60年代は退職するとすぐに寿命となり、学校教育の知識で定年まで暮らせたのです。寿命が延び生活に余裕ができた中で、カルチャーセンター等が充実してきました。しかし、バブル崩壊等の経済危機や産業構造の変化により高失業率な社会になったり、グローバル化はより高度な知識を必要とされておりま

す。

皆さんは85年のアメリカ映画で、バックテューザフィューチャーをご覧いただきましたでしょうか。85年を中心に過去や未来にタイムトラベルする話です。その未来は2015年でした。自分の年代でも親は風呂はまきで炊き、水洗トイレではなく、1955年洗濯機、冷蔵庫、テレビが出てきた時代、85年カバンのような携帯電話でしたからその時は想像もつすなかつたと思います。その映画の2015年を85年の時に予想したもので多くが近いものとしてでました。薄型大型テレビ、コンピューターの端末メガネはグーグルやアップル。タブレット端末や時計型も、リニアスケボーはただけどリニア新幹線は見えています。急早な発達で生活は便利となりましたが、人間性の喪失は悪化し、科学発展と反比例しています。

親子や夫婦関係が希薄となり家庭も変わってきています。東西冷戦が89年崩壊し、壁がなくなり歩みよりができるかと思ったら、逆に民族が戦いバラバラに分裂し、21世紀はテロの時代となり、その中で世界は宗教的問題を含めて混乱しています。

時代は教育を養成し、教育は人類進化に役立っていましたが、今は予測を超えた出来事の中にいると思います。

日本の歴史から見ますと、江戸から明治への近代化。そして45年の敗戦による占領から民主主義への変化。この2つの大きな分岐点は、西欧諸国に追い付き追い越せという中からの初めての敗戦による自信喪失で国家喪失が今でもまだ引き継がれていると思います。今の安保改正が憲法の上にあるかというような議論は、この点にかかわっているかと思われま

す。20世紀での科学文明発達によるもの文化から、今の改革の時代は学校教育だけでは賄えなくなった時代で、生涯学習はそれを補充するために必要性が高まっています。

野村生涯学習センターの創設者は、人間の内面的立場に目を向けました。60年代物があふれて幸せになったはずが、青少年に目に見えない異常な状況を感じてきたからです。

人間が人間らしく生きられることから、教育現場では、単なる学習を高めることに変わっていきま

る状況を子供社会が感じて受け入れてしまったところに不幸がありました。教育の改革と大人社会への警告として講演や全国大会での研修を毎年開催し訴えています。

国内だけでなく国外にも目を向けた活動をしています。大陸では国境は1本の線で接し日本は海によって守られ単一民族で理解しあえる文化でした。しかし今では視点や発想を変えないと日本を守れなくなっています。庶民が誰かにたよっていたら欧米と同じような希薄な関係が進んでしまい、今が大事な時です。1974年ベルギー平和会議があり、欧米的論理で進行され、男性理論の世界でした。私はそれだけでなく、東洋思想と女性理論を入れると世界は変わると思いました。一方だけの教育でなく、西洋と東洋、男性と女性というように互いに補完しあうことが必要です。

どう時代を生きるか。自己とは何か。自分のあり方が現代を作っていくのです。息子がいますが、私の育った時代と息子が育った時代はまったく違う事を理解して下さい。時代認識をするとその内面が見られると思います。

政治・経済・教育の全に多くの問題を抱えています。その問題を起こしているのが人間です。社会生活では経済的成長が求められ、人間を手段として使い、精神的圧迫をかけています。物質文明の巨大化が、人間を人間らしくいられない状況となり、教育も真の目的からずれています。

名古屋の女子大生が放火や殺人を犯した事件がありましたが、動機が単に人を殺してみたかったという事で、人としてのバランスを崩している事件です。もの知り教育、詰め込み教育による単に知るだけを行って、他者と自分の関係という人間形成が作れない教育。人間としての思いやりが失われて、生きる事、生かされている事を考えられない状況で学習教育されている状況があるのです。

人間の生きる意味は、いけどもいけども理解するには難しく最も複雑なものだと思います。

教育の原点は自分を知る事だと思います。野村教育論について毎年学ぶ機会があります。日々の状況の変わるなかで、生涯教育として学び続けてまいりたいと思っております。

## ホールフードセミナーⅡ

於 みなかみ町

時 平成27年6月7日

タカコ・ナカムラ 先生

